

第1回 2月 共通テスト本番レベル模試

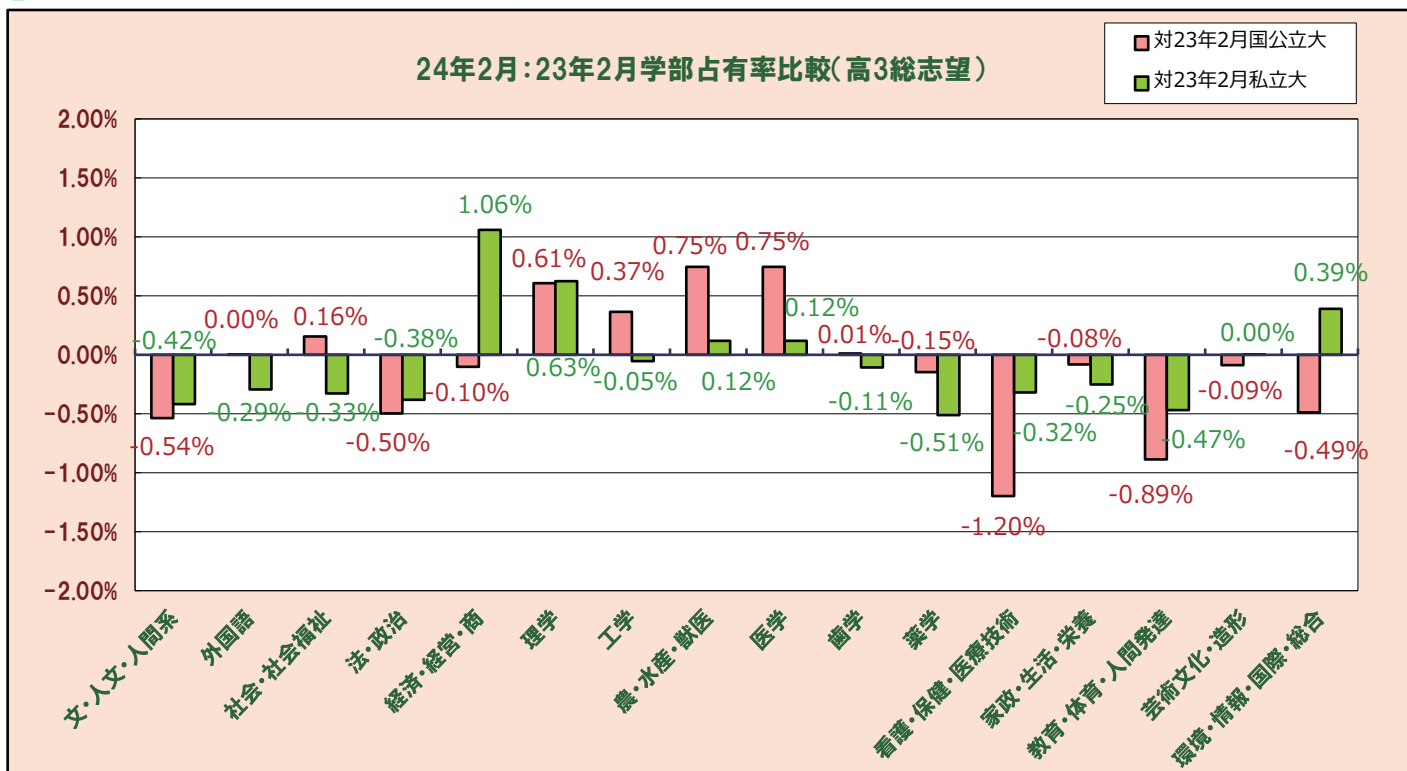
新年度を迎える前に 基礎固めをしっかりと行おう！

2月18日（日）に実施した「第1回 2月 共通テスト本番レベル模試」の新高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験した新高3生との志望動向と比較した。

もうすぐ受験シーズンを終えようとしている先輩たちは昨年の今ごろ、どのような学問に興味を持ち、受験生としてのスタートを切ったのだろうか。

ライバルに差をつけるためにも、春休みを利用して基礎固めを行い、受験勉強に早期に着手しよう！

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	91	97	93
外国語	100	83	89
社会・社会福祉	112	93	95
法・政治	92	96	93
経済・経営・商	99	105	102
理学	107	110	109
工学	108	105	107
農・水産・獣医	106	98	106
医学	107	104	109
歯学	102	76	96
薬学	97	88	93
看護・保健・医療技術	81	92	86
家政・生活・栄養	87	84	83
教育・体育・人間発達	85	86	86
芸術文化・造形	81	100	93
環境・情報・国際・総合	90	106	98
うち情報	88	115	99
うち国際	83	97	91

■国公立大

文低理高の志望動向は継続しているが、コロナ禍の収束とともに薬学系や看護・保健・医療技術系、家政・生活・栄養系といった資格取得系の学部系統の人気は下がってきている。一方で医学系の人気は継続している。

■私立大

理学系、工学系は国公立大学同様に人気が続いている。国公立大学と異なる傾向にあるのは、環境・情報・国際・総合系の人気が高いこと。その人気をけん引しているのは情報系で、情報系学部・学科の新設ラッシュで供給過多になりつつあるものの、興味を持っている新受験生が多いことが見て取れる。経済・経営・商学系も人気が続いている。

※このデータは、2024年と2023年の「第1回 2月 共通テスト本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の新高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。